

代数	天皇	読み	在位	本名(いみな)	読み	古事記	日本書紀・続日本	読み	推定地	記事	天皇
1	神武	じんむ	BC660~BC585	神日本磐余彦	かむやまといわれひこ	白檮原宮	檮原宮	かしわらのみや	奈良県橿原市歌傍町		神武
2	綏靖	すいせい	BC581~BC549	神淳名川耳	かんなぬなかわみみ	葛城高丘宮	葛城高丘宮	かつらぎのたかおかのみや	奈良県御所市森脇		綏靖
3	安寧	あんねい	BC549~BC511	磯城津彦玉手看	しきつひこたまてみ	片塩浮穴宮	片塩浮穴宮	かたしおのたまきあのみや	奈良県大和高田市三倉堂		安寧
4	懿德	いとく	BC510~BC477	大日本彦耜友	おおやまとひこすきとも	輕境崗宮	輕曲峡宮	かるのまがりおのみや	奈良県橿原市大軽町		懿德
5	孝昭	こうしょう	BC475~BC393	親松彦香植稻	みまつひこかえしね	葛城披上宮	披上池心宮	わきのかみのいけこころのみや	奈良県御所市池之内		孝昭
6	孝安	こうあん	BC392~BC291	日本足彦国押人	やまとたらしひこくに押しと	室秋津島宮	室秋津島宮	むろのあきつしまのみや	奈良県御所市室	秋津島は後に大和の枕詞になる	孝安
7	孝靈	こうれい	BC290~BC213	大日本根子彦太瓊	おおやまとねこひこふとに	黒田廬戸宮	黒田廬戸宮	くろたのいほとのみや	奈良県磯城郡田原本町黒田		孝靈
8	孝元	こうげん	BC214~BC158	大日本根子彦国牽	おおやまとねこひこくに	輕境原宮	輕境原宮	かるのさかいほらのみや	奈良県橿原市大軽町		孝元
9	開化	かいか	BC158~BC98	稚日本根子彦大日日	わかやまとねこひこおひひ	春日伊邪河宮	春日率川宮	かすがのいさかわのみや	奈良県奈良市子守町		開化
10	崇神	すじん	BC97~BC30	御間城入彦五十瓊殖	みまきいりびこいこえ	師木水垣宮	磯城瑞籬宮	しきみずがきのみや	奈良県桜井市金屋	三輪王朝の始祖 四道將軍	崇神
11	垂仁	すいにん	BC29~70	活目入彦五十狹茅	いくめいりひこいさち	師木玉垣宮	纏向珠城宮	まきむくのたまきのみや	奈良県桜井市穴師		垂仁
12	景行	けいこう	71~130	大足彦忍代別	おおたらしひこおしろわけ	纏向之日代宮	纏向之日代宮	まきむくのひしろのみや	奈良県桜井市穴師	全国支配の確立期、ヤマトタケル	景行
13	成務	せいむ	131~190	稚足彦	わかたらしひこ	高穴穗宮	高穴穗宮	たかあなほのみや	滋賀県大津市坂本穴太町		成務
14	仲哀	ちゅうあい	192~200	足仲彦	たらしなかつひこ	穴門之豊浦宮	穴門豊浦宮	あなとのとゆらのみや	山口県下関市長府町豊浦	神功皇后	仲哀
15	応神	おうじん	270~310	誉田別	ほむたわけ	輕嶋之明宮	明宮	あかるのみや	奈良県橿原市大軽町	三輪王朝に替わり、河内王朝の始祖	応神
16	仁徳	にんとく	313~399	大鷦鷯	おおさざきの	難波之高津宮	難波高津宮	なにほのおおすみのみや	大阪府大阪市東区	讚	仁徳
17	履中	りちちゅう	400~405	去来穗別	いざほわけ	伊波礼之若桜宮	盤余稚桜宮	いわれのわかさくらのみや	奈良県桜井市池之内		履中
18	反正	はんぜい	406~410	多遲比瑞齒別	たじひのみずはわけ	多治比之柴垣宮	丹比柴籬宮	たじひのしばがきのみや	大阪府松原市上田町	珍	反正
19	允恭	いんぎょう	412~453	雄朝津間稚子宿禰	おあさづまわくこのすくね	遠飛鳥宮	遠飛鳥宮	とおつあすかのみや	奈良県高市郡明日香村	濟(確)	允恭
20	安康	あんこう	453~456	穴穗	あなほ	石上之穴穗宮	石上穴穗宮	いそのかみのあなほのみや	奈良県天理市田町	興(確)	安康
21	雄略	ゆうりやく	456~479	大泊瀬幼武	おおはつせのわかたけ	長谷朝倉宮	泊瀬朝倉宮	はつせのあさらのみや	奈良県桜井市黒崎	武(たけ)(確) 471年、稻荷山古墳の鉄剣(治天下)	雄略
22	清寧	せいねい	480~484	白髮武広国押稚日本根	しらかのたけひろくにおしわかやまとねこ	伊波礼之養栗宮	盤余養栗宮	いわれのみかくりのみや	奈良県桜井市池之内		清寧
23	顯宗	けんそう	485~487	弘計	をけ	近飛鳥宮	近飛鳥八釣宮	ちかつあすかやつりのみや	奈良県高市郡明日香村八釣		顯宗
24	仁賢	にんけん	488~498	億計	おけ	石上広高宮	石上広高宮	いそのかみのひろたかのみや	奈良県天理市石上町		仁賢
25	武烈	ぶれつ	498~506	小泊瀬稚鷦鷯	こはつせのわかさざき	長谷之列木宮	泊瀬列城宮	はつせのなみきのみや	奈良県桜井市出雲		武烈
26	継体	けいたい	507~531	男大迹	おおどの		檮葉宮	くすばのみや	大阪府枚方市楠葉	天皇の後継がなく、越前から迎えられ即位(応神天皇五世の527年、筑紫国造磐井の反乱)	継体
							筒城宮	つつきのみや	京都府京田辺市多々羅		
							弟国宮	おとくのみや	京都府長岡京市		
							伊波礼之玉穗宮	盤余玉穗宮	いわれのたまほのみや	奈良県桜井市池之内	
27	安閑	あんかん	531~535	広国押武金目	ひろくにおしたけかなひ	勾之金箸宮	勾金箸宮	まがりのかなはしのみや	奈良県橿原市曲川町	武蔵国造の乱	安閑
28	宣化	せんか	535~539	武小広国押盾	たけおひろくにおしたて	檜隈廬入野宮	檜隈廬入野宮	ひのくまのいほりのみや	奈良県高市郡明日香村檜前		宣化
29	欽明	きんめい	539~571	天国排開広庭	あめくにおしほらきひろにわ	師木嶋大宮	磯城嶋金刺宮	しきしまのかなさしのみや	奈良県桜井市外山	562年、任那の滅亡	欽明
30	敏達	びだつ	572~585	淳中倉太珠敷	ぬなくらふとたましき		百濟大井宮	くだらおいのみや	奈良県桜井市吉備		敏達
							他田宮	たののみや	奈良県桜井市戒重(かいじゅう)		
							詔語田幸玉宮	おさださきたまのみや	奈良県桜井市戒重(かいじゅう)		
31	用明	ようめい	585~587	橘豊日	たちばなのとよひ	池辺宮	磐余池辺双槻宮	いわれのいけべなみつきのみや	奈良県桜井市池之内		用明
32	崇峻	すしゅん	587~592	泊瀬部	はつせべ	倉梯宮	倉梯宮	くらはしのみや	奈良県桜井市倉橋		崇峻
33	推古	すいこ	592~628	額田部	ぬかたべ		養浦宮	とゆらのみや	奈良県高市郡明日香村豊浦	603年、冠位十二階 604年、憲法十七条	推古
							小墾田宮	おほりたのみや	奈良県高市郡明日香村豊浦・橿原	607年、遣隋使	
34	舒明	じよめい	629~641	息長足日広額	おきながたらしひひろぬか		飛鳥岡本宮	あすかおかもとのみや	奈良県高市郡明日香村小山		舒明
							田中宮	たなかのみや	奈良県橿原市田中町		
							厩坂宮	うまやさかのみや	奈良県橿原市大軽町		
							百濟宮	くだらのみや	奈良県桜井市吉備		
35	皇極	こうごく	642~645	宝	たから		飛鳥板蓋宮	あすかいたぶきのみや	奈良県高市郡明日香村岡	645年、大化の改新(乙巳の変)	皇極
36	孝德	こうとく	645~654	天万豊日	あめよろずとよひ		飛鳥板蓋宮	あすかいたぶきのみや	奈良県高市郡明日香村岡		孝德
							難波長柄豊碕宮	なにわのながらのとよさきのみや	大阪府大阪市東区法円坂町		
							後飛鳥岡本宮	のちのあすかおかもとのみや	奈良県高市郡明日香村小山		
							飛鳥川原宮	あすかかわはらのみや	奈良県高市郡明日香村川原	皇極天皇重祚	齊明
37	齊明	さいめい	655~661	宝	たから		近江大津宮	おうみおうつのみや	滋賀県大津市南滋賀町	663年、白村江の戦で惨敗	天智
38	天智	てんじ	668~671	天命開別	あめみことひらかすわけ		近江大津宮	おうみおうつのみや	滋賀県大津市南滋賀町	672年、壬申の乱 弘文天皇は日本書紀から削除されている	弘文
39	弘文	こうぶん	671~672	大友	おおとも		飛鳥浄御原宮	あすかきよみはらのみや	奈良県高市郡明日香村飛鳥		天武
40	天武	てんむ	673~686	大海人	おおあま		飛鳥浄御原宮	あすかきよみはらのみや	奈良県高市郡明日香村飛鳥		天武
41	持統	じとう	690~697	鸕野讃良	うののさらら		藤原宮	ふじわらのみや	奈良県橿原市	藤原京は日本最初の都城	持統
42	文武	もんむ	697~707	輕	かる		藤原宮	ふじわらのみや	奈良県橿原市	701年、大宝律令なる	文武
43	元明	げんめい	707~715	阿閉	あへ		藤原宮	ふじわらのみや	奈良県橿原市	710年、平城京に遷都	元明
							平城宮	ならのみや	奈良県奈良市	712年、太安麻呂、古事記を撰上	
44	元正	げんしょう	715~724	氷高	ひたか		平城宮	ならのみや	奈良県奈良市	720年、舎人の親王ら、日本書紀を撰上	元正
45	聖武	しょうむ	724~749	首	おびと		平城宮	ならのみや	奈良県奈良市	749年、東大寺の大仏開眼	聖武
							慈仁宮	くにのみや	京都府相楽郡加茂町		
							養香楽宮	しがらきのみや	滋賀県甲賀郡信楽町		
							難波宮	なにわのみや	大阪府大阪市東区		
							保良宮	ほらのみや	滋賀県大津市国分		
							由義宮	ゆげのみや	大阪府八尾市八尾木		
46	孝謙	こうけん	749~758	安倍	あべ		保良宮	ほらのみや	奈良県奈良市		孝謙
47	淳仁	じゆんにん	758~764	大炊	おおひ		平城宮	ならのみや	滋賀県大津市国分		淳仁
48	称徳	しょうとく	764~770	安倍	あべ		平城宮	ならのみや	奈良県奈良市	孝謙天皇重祚	称徳
49	光仁	こうにん	770~781	白壁	しらかべ		平城宮	ならのみや	奈良県奈良市	光仁天皇(天智の孫)の即位は天武系から天智系に交替	光仁
50	桓武	かむむ	781~806	山部	やまべ		長岡宮	ながおかのみや	京都府向日市鶏冠井町	794年、平安京に遷都	桓武
							舞安宮		京都府京都市上京区		